

『medicina』 50 周年を迎えるにあたり

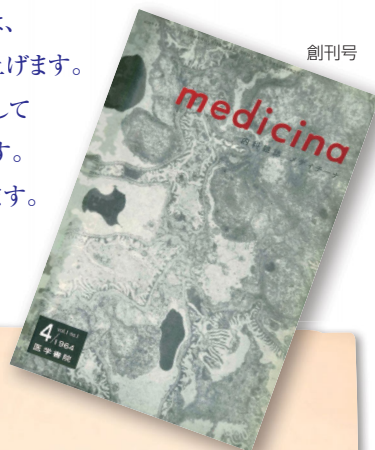
日ごろより内科臨床誌『medicina』をご愛読くださり、厚く御礼申し上げます。
お蔭様をもちまして、『medicina』は 2013 年に 50 周年を迎えることができました。

些かなりとも内科診療に貢献できたことは、
ひとえに読者および執筆者の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

創刊当時の志を引き継ぎ、なおいっそう努力して
より良い誌面づくりを心がける所存でございます。

どうぞ末永くご指導ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

『medicina』編集委員会



「medicina」創刊の辞

内科を標榜する雑誌は数多くありますが、そのただなかに新雑誌「medicina」はここに解纜いたします。phoenix の希望を載せて。

「medicina」はいたずらに屋上屋を架するものではなく内科ないし内科的診療に従事する内科医 3 万 7 千を対象とし、その好伴侶たろうとする啓発的総合誌であります。

表紙に始まり、本文の各頁はどの 1 頁をとりあげても臨床に役立つ観点で編集されていないものはありません。

「medicina」編集上の眼目を次に掲げます。

「medicina」編集宣言

1. 今日の医療の反省を心がけ、明日のよりよい医療のあり方を究めます。
2. 臨床家に役立つよう、プラクティカルであることを心がけます。
3. ある病気に対する今日の見解とその発展方向などが示唆されるような内容の論文をとりあげます。
4. 病気が断片的ではなく、いつも全体的にとりあげられるよう配慮いたします。
5. できるだけ新しい角度で問題をとりあげるよう努力いたします。
6. 見落とされた重要問題を拾うよう心がけます。
7. 従来の形式にとらわれず、医学の進歩の成果が実地医家に理解されやすいように表現いたします。
8. 医人に必要な内容を幅広く盛る総合編集を心がけます。
9. グラフ頁を設けるなど視覚的要素を多く盛り、親しみやすく読みやすいレイアウトを工夫します。
10. 常に読者の声に耳を傾け、読者と血の通った雑誌にすることを心がけます。

「medicina」は内科医の指標として、今日読んだ 1 頁 1 頁が明日の臨床に役立つことを念じます。

「medicina」創刊号（1964 年 4 月号）